

実施回	第1回	実施日	時限	班
授業計画	・病理学概説, 病因論, 病理学と臨床医学 ①病理学の概要について説明できる. ②病因論について説明できる. ③病理学と臨床医学の関係を説明できる.	予習	教科書の第1部・第1章, 第2部・付章を読んでおく.	
		復習	配布プリントと教科書をあわせて読み直し理解を深める.	
		キーワード	病理学, 疾病の原因, 病理診断, 内因, 外因	
授業形態	講義	担当	窪田	

実施回	第2回	実施日	時限	班
授業計画	・先天異常 ①先天異常について説明できる. ②遺伝の形式を説明できる. ③遺伝障害と胎児障害を説明できる. ・老化と死 ①加齢に伴う組織・細胞の変化を説明できる. ②個体の死について説明できる.	予習	教科書の第1部・第7章, 第8章を読んでおく.	
		復習	配布プリントと教科書をあわせて読み直し理解を深める.	
		キーワード	先天異常, 遺伝子異常, 胎児障害	
授業形態	講義	担当	窪田	

実施回	第3回	実施日	時限	班
授業計画	・代謝障害(細胞組織の損傷と修復) ①細胞の損傷と適応について説明できる. ②退行性変化について説明できる. ③進行性変化について説明できる. ④細胞の障害に対する再生について説明できる. ⑤細胞の障害に対する修復について説明できる. ⑥代謝障害と疾患について説明できる.	予習	教科書の第1部・第2章-A, 第6章を読んでおく.	
		復習	配布プリントと教科書をあわせて読み直し理解を深める.	
		キーワード	萎縮, 変性, 壊死とアポトーシス, 肥大と過形成, 創傷とその治癒, 再生と修復, 代謝障害	
授業形態	講義	担当	窪田	

実施回	第4回	実施日	時限	班
授業計画	・循環障害 ①循環器系の概要について説明できる. ②局所性循環障害について説明できる. ③全身性循環障害について説明できる. ④リンパの循環障害について説明できる.	予習	教科書の第1部・第5章を読んでおく.	
		復習	配布プリントと教科書をあわせて読み直し理解を深める.	
		キーワード	循環系, 充血, うっ血, 虚血, 血栓症, 塞栓症, 梗塞, 出血, ショック, 播種性血管内凝固症候群, 傍側循環, 浮腫	
授業形態	講義	担当	窪田	

実施回	第5回	実施日	時限	班
授業計画	・炎症と免疫 ①炎症の定義を説明できる. ②炎症細胞を説明できる. ③急性炎症と慢性炎症について説明できる. ④炎症の組織学的分類を説明できる. ⑤免疫反応について説明できる. ⑥免疫担当細胞について説明できる. ⑦細胞性免疫と液性免疫について説明できる. ⑧免疫異常について説明できる. ⑨移植と免疫について説明できる. ⑩再生医療について概略を説明できる.	予習	教科書の第1部・第2章-B,C, 第3章を読んでおく.	
		復習	配布プリントと教科書をあわせて読み直し理解を深める.	
		キーワード	炎症, 免疫, 免疫異常, アレルギー, 自己免疫疾患, 拒絶反応	
授業形態	講義	担当	窪田	

実施回	第6回	実施日	時限	班
授業計画	・感染症 ①病原体と感染症について説明できる. ②宿主の防御機構について説明できる. ③主な病原体について説明できる. ④感染症の治療と予防について説明できる. ・腫瘍(1) ①腫瘍の定義を説明できる. ②腫瘍の分類を説明できる.	予習	教科書の第1部・第4章, 第9章Aを読んでおく.	
		復習	配布プリントと教科書をあわせて読み直し理解を深める.	

	②腫瘍の分類を説明できる ③悪性腫瘍と良性腫瘍の違いを説明できる。 ④前癌と境界病変について説明できる。 ⑤腫瘍細胞の機能について説明できる。	キーワード	感染症, 感染経路
授業形態	講義	担当	窪田

実施回	第7回	実施日	時限	班
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍(2) ①腫瘍の発生機序について説明できる。 ②癌遺伝子と癌抑制遺伝子について説明できる。 ③腫瘍の病因について説明できる。 ④悪性腫瘍の拡がり方を説明できる。 ⑤悪性腫瘍の評価と宿主への影響を説明できる。 ⑥腫瘍の診断方法, 予後評価について説明できる。 	予習	教科書の第1部・第9章B,C,Dを読んでおく。	
		復習	配布プリントと教科書をあわせて読み直し理解を深める。	
		キーワード	良性腫瘍, 悪性腫瘍、腫瘍の発生病理, 癌遺伝子, 癌抑制遺伝子、転移, 腫瘍マーカー	
授業形態	講義	担当	窪田	

実施回	第8回	実施日	時限	班
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの講義の振り返り学修 ・国試問題演習 	予習	これまでの講義内容を復習しておく。	
		復習	配布プリントと教科書をあわせて読み直し理解を深める。	
		キーワード		
授業形態	講義	担当	窪田	